光一中だより

教育目標
○自主的に学び、考え、実行する人
○心豊かで、ともに助け合う人
○健康で、勤労を愛する人

練馬区立光が丘第一中学校
校　長　　豊田　貴志
令和５年度　第４号
令和５年７月７日

「自然災害の脅威（きょうい）と備え」

校　長　豊　田　貴　志

近年、「線状降水帯（せんじょうこうすいたい）」と呼ばれる気象用語を聞く機会が多くなりました。この文を作成している現在でも、発生した「線状降水帯」によって、九州地方では非常に激しい雨による水害が発生しており、たいへん心配な状況です。

では「線状降水帯」とは一体どんなものなのでしょう。それは、「次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をつくり、かたまった積乱雲の群によって、数時間にわたって同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50～300km 程度、幅 20～50km 程度の強い降水をともなう雨域。」とされています（出典 tenki.jp より）。

積乱雲は通常であれば１時間程度の雨が降ると消えていくものです。線状降水帯においても、積乱雲は雨を降らせると消えますが、すぐに次の積乱雲が発生し雨を降らせる…というサイクルを繰り返します。これが同じ場所で起こるので長時間の強い雨が続き、水害を引き起こします。

私たちの住む地域でも同じことが起こる可能性があります。では私たちはこのような災害に対してどんな備えをしておく必要があるでしょうか。

備えの一例

❶防災情報の確認
気象庁、地方自治体の web サイトなどで最新の天気の情報を入手しましょう。

❷避難計画の作成
家庭で避難場所や避難経路などの避難計画を立てておきましょう。練馬区では水害と地震の時には避難場所が異なります。場所や行き方を確認し、家庭で共有しておきましょう。右の QR コードは練馬区のホームページに掲載されている風水害時の避難所一覧です。

❸防災グッズの準備
水の浸入や遮断、断水などに備えて、非常用の水や食料、懐中電灯、ラジオ、バッテリー、非常用医薬品などの備蓄品を準備しておきましょう。

※これ以外にも多くの備えがあります。どんなものが必要か考えてみましょう。